

## 令和6年度 学校経営方針(概要版)

### 一人一人の生徒を大切にできる学校・・・生徒第一・生徒主体の学校を目指します。

生徒の深い学びの獲得や健全な心の育成を図るために、学校生活の中で生徒が主体的に取り組むことができる教育活動を推進します。教員はファシリテーターとしての役割をもち、全ての生徒を全ての教職員でサポートしていく学校組織を構築します。

- ① 生徒一人一人を大切にすることを基本的なコンセプトとし、生徒の良さや可能性を認め、生徒の能力を引き出すことができる学習指導、生活指導等を実践していきます。
- ② 「生徒が創りあげる浅間中学校」という伝統的なスローガンの下で、生徒が各種行事や委員会活動、部活動等の活動に主体的に活動する環境を作ってまいります。
- ③ 生徒に教えるのではなく学びをサポートすることで生徒が深い学びを獲得できる質の高い授業を実践していきます。
- ④ 登校することに抵抗がある生徒や特別な支援が必要な生徒に対して、一人一人に応じた有効な支援ができるよう、個別のアセスメントを組織的に行うとともにサポートルームや特別支援教室の効率的な活用を図ります。

また、サポートルームには、居場所機能、心の支援機能、教室への復帰機能等、生徒の状況に応じた機能をもたせるなどの工夫をしております。

### **きづく <自分の良さや能力、他者の良さ、学習中での発見・・・多くの「きづき」を大切にします>**

- 人権教育や道徳科の取組を充実・推進させることで、生徒同士が互いの差異を認め、自分の大切さに気付くとともに他者の大切さにも気付くことのできる心や態度を育成します。
- 課題解決型の学習や協働的な学習を通して、生徒が主体的に取り組むことのできる学習活動を推進し、ICT 機器を効果的に活用することで、分かりやすくかつ深い学びを体感できる授業を実践します。

### **つながる <人や地域・社会と交流することを通して、人や地域と「つながる」心を大切にします>**

- 学校行事、学年行事や委員会活動などの取組を、生徒を中心にした生徒主体の活動にしていくことで、生徒自ら問題を解決していく力や合意形成を図っていく力を育成します。
- 生徒同士の協働的な活動を通して生徒同士の絆を深めたり、地域・社会と関わる活動を通して自身と地域とのつながりを発見したりする取組を推進します。
- 小学校との連携を通して、学習内容の系統性、生活指導の連続性と継続性を大切にします。

### **たかめる <社会的自立に向けて生徒自身の力を高めさせながら、学校全体の力も高めていきます>**

- 生徒の自己指導能力を高めるために、教員と生徒との共感的信頼関係の下、生徒が自己決定できる場を効率的に設定し、生徒第一、生徒の寄り添う生活指導を推進します。
- 登校することに抵抗感をもつ生徒のために、一人一人の適切なアセスメントを行い関係機関と連携しながら効率的な支援ができるよう学校の組織力を高めていきます。
- 障害のあるなしにかかわらず生徒のニーズに合わせた特別支援教育を組織的に実践していきます。また、拠点校の教員との緊密な連携の下で、特別支援教室のより良い活用を充実させていきます。